



2022年 12月16日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

2023年4月期 第2四半期 決算説明資料
～決算概要～



I	2023年4月期 第2四半期業績	2	III	中期経営計画(ローリング) －2023年4月期～2025年4月期	15
1.	業績概要	3	1.	計画概要	16
2.	営業利益分析	4	2.	2023年4月期～2025年4月期 業績計画	17
3.	セグメント別業績	5	3.	化成品事業：マグネシウム	18
4.	財政状態	7	4.	化成品事業：セラミックス	20
5.	キャッシュ・フローの状況	8	5.	建材事業	22
II	2023年4月期業績予想 及び 下期の取組み	9	IV	株主還元	24
1.	2023年4月期業績予想	10	1.	株主還元	25
2.	2023年4月期業績予想 (計画対比)	11	V	補足資料	26
3.	下期の取組み 化成品事業 (実績対比)	12	1.	当社について	27
4.	下期の取組み 建材事業 (実績対比)	13	2.	環境への取組み	38
5.	ユニークなビジネスモデルによる 炭素の固定化と資源循環型商品の提供	14			

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

I 2023年4月期 第2四半期 業績



I-1.業績概要

(単位:百万円)

	2022/4期 上期実績	2023/4期 上期実績	前期比		2023/4期 上期予想(※2)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	10,377	11,478	+1,100	+10.6%	11,600	△121	99.0%
建材	6,483	6,916	+433	+6.7%	6,800	+116	101.7%
化成品	3,894	4,562	+667	+17.1%	4,800	△237	95.0%
マグネシウム	3,472	3,975	+502	+14.5%	4,100	△124	97.0%
セラミックス	421	586	+164	+39.1%	700	△113	83.8%
営業利益	1,146	1,060	△85	△7.5%	1,050	+10	101.0%
建材(※1)	606	577	△29	△4.8%	400	+177	144.4%
化成品(※1)	857	767	△89	△10.5%	960	△192	79.9%
経常利益	1,155	1,052	△103	△8.9%	1,050	+2	100.2%
(経常利益率)	(11.1%)	(9.2%)	—	—	(9.1%)	—	—
四半期純利益	753	621	△132	△17.6%	700	△78	88.7%
減価償却費	524	606	+82	+15.6%	632	△26	95.8%

※1 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

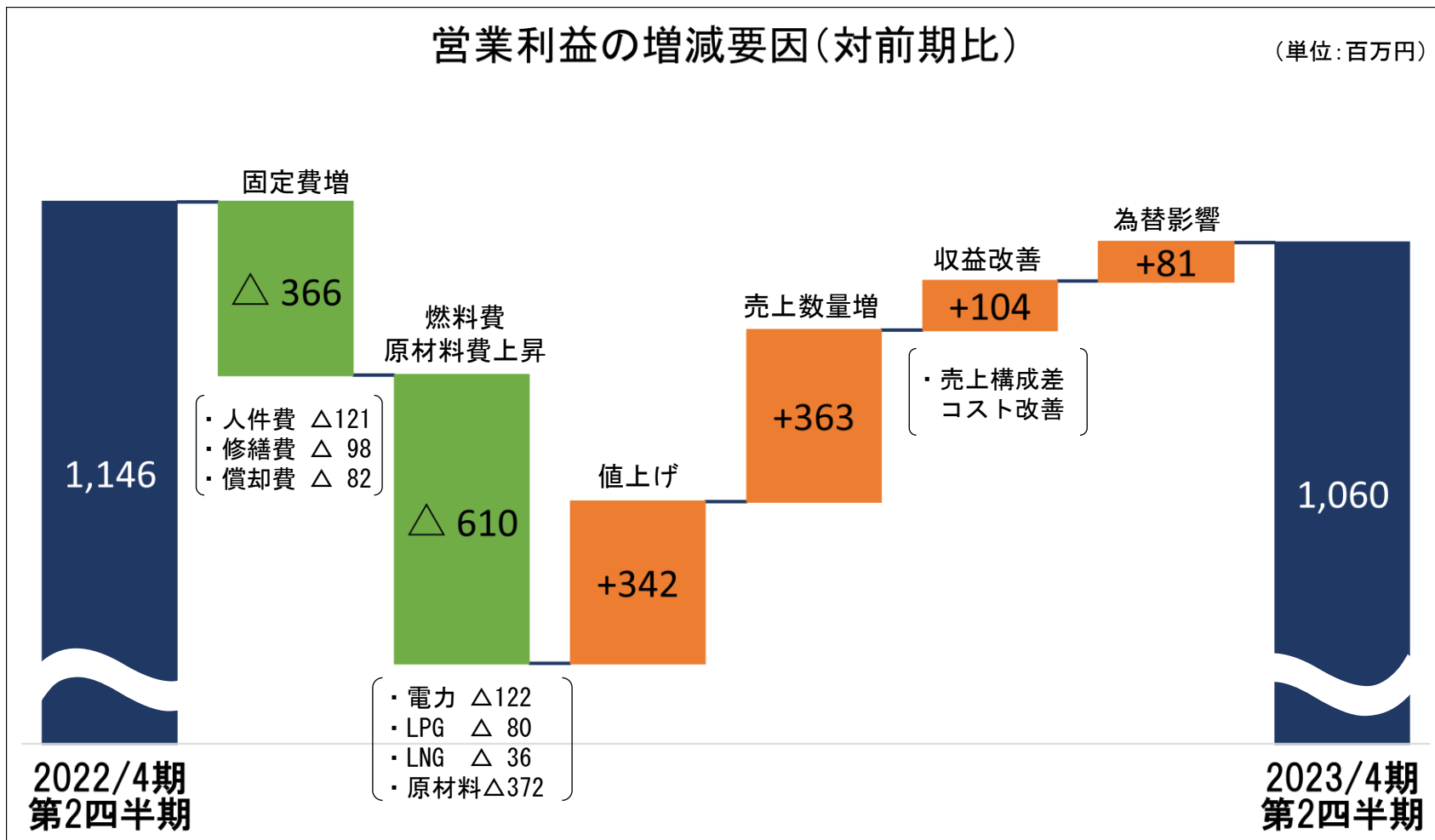
※2 公表日2022年6月10日

- ◇ 売上高は建材事業 (+6.7%)、化成品事業のマグネシウム (+14.5%)、セラミックス (+39.1%) とともに増収
- ◇ 営業利益は、建材事業 (△4.8%)、化成品事業 (△10.5%) とともに減益
- ◇ なお、予想比では全社の売上高99.0%、経常利益100.2%の達成率

I-2. 営業利益分析

営業利益の増減要因(対前期比)

(単位: 百万円)



- ◇ 営業利益は、固定費の増加や大幅な燃料費・原材料費の上昇による影響があったものの、値上げや売上数量増、高付加価値化による売上構成差・コスト改善等の収益改善効果積上げにより、前期比△85百万円に留まる

I-3.セグメント別業績【建材事業】

(単位:百万円)

	2022/4期 上期実績	2023/4期 上期実績	前期比		2023/4期 上期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	6,483	6,916	+433	+6.7%	6,800	+116	101.7%
住宅	5,186	5,547	+361	+7.0%	5,391	+156	102.9%
高級軒天ボード	1,263	1,489	+225	+17.9%	—	—	—
一般の製品	3,923	4,058	+135	+3.4%	—	—	—
非住宅	1,296	1,369	+72	+5.6%	1,408	△39	97.2%
(非住宅比率)	(20.0%)	(19.8%)	—	—	(20.7%)	—	—
セグメント利益	606	577	△29	△4.8%	400	+177	144.4%

(参考)

(単位:万戸)

※ 公表日2022年6月10日

新設住宅着工戸数	44.5	44.2	△0.2	△0.7%
----------	------	------	------	-------

- ◇ 売上高は、注力製品である住宅用高級軒天ボードの伸び (+17.9%) が寄与し、増収
- ◇ 非住宅分野では、高層ビル用耐火パネルの好調により増収
- ◇ セグメント利益は、燃料費・原材料の上昇による影響が大きかったものの、値上げや高付加価値製品（高級軒天ボード）の拡販、各種コスト削減により、前期比△29百万円に留まる

I-3.セグメント別業績【化成品事業】

(単位:百万円)

	2022/4期 上期実績	2023/4期 上期実績	前期比		2023/4期 上期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	3,894	4,562	+667	+17.1%	4,800	△237	95.0%
マグネシウム	3,472	3,975	+502	+14.5%	4,100	△124	97.0%
国内	1,835	1,969	+133	+7.3%	1,995	△25	98.7%
海外	1,637	2,006	+368	+22.5%	2,105	△98	95.3%
(海外比率)	(47.2%)	(50.5%)	—	—	(51.3%)	—	—
セラミックス	421	586	+164	+39.1%	700	△113	83.8%
セグメント利益	857	767	△89	△10.5%	960	△192	79.9%

※ 公表日2022年6月10日

- ◇ マグネシウムは、国内の医薬用途・海外の健康関連サプリメントの需要好調により酸化マグネシウムが増収、また海外の工業用途の難燃水酸化マグネシウムも増収
- ◇ セラミックスは、蛍光体を中心に大幅な増収 (+39.1%)
- ◇ セグメント利益は、燃料費・原材料費の上昇による影響に対し、値上げや高利益率のマグネシウム製品・セラミックス製品の拡販を実施したが、コスト増を吸収するまでには至らず減益

I -4.財政状態

(単位:百万円)

	2022/4期 期末	2023/4期 上期末	前期末比
現金及び預金	1,871	1,192	△679
売上債権	4,618	4,652	+33
棚卸資産	3,729	4,485	+756
建物、機械装置	8,108	8,218	+109
建設仮勘定	2,135	3,461	+1,326
資産計	24,697	26,124	+1,427
仕入債務	3,528	3,080	△448
借入金	4,840	6,691	+1,850
負債計	15,331	16,304	+972
純資産計	9,365	9,820	+454
負債・純資産計	24,697	26,124	+1,427
(自己資本比率)	37.7%	37.4%	△0.3%

I -5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2022/4期 上期	2023/4期 上期
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	947	△53
実質営業キャッシュ・フロー ※1	1,573	1,485
運転資金キャッシュ・フロー ※2、※3	△347	△1,238
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,153	△2,156
固定資産の取得	△1,153	△2,167
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,015	1,530
借入金純増減(減:△)	1,428	1,850
配当金の支払	△183	△162
4. 現金・現金同等物増減(減:△)	809	△679
5. 現金・現金同等物当期末残高	1,776	1,192

※1 実質営業キャッシュ・フロー = 税引前当期純利益 + 減価償却費

※2 運転資金キャッシュ・フロー = 売上債権増減 + 棚卸資産増減 - 仕入債務増減

※3 運転資金キャッシュ・フローに占める休日影響 2022/4期上期: +399百万円、2023/4期上期: △469百万円

Ⅱ 2023年4月期業績予想 及び 下期の取組み

KONOSHIMA

Ⅱ-1.2023年4月期 業績予想

通期の業績予想に変更はありません (予想公表日:2022/6/10)

(単位:百万円)

	2022/4期 通期実績	2023/4期 通期予想	2022/4期 通期実績比	
			増減金額	増減率
売上高	21,787	23,800	+2,012	+9.2%
建材	13,395	14,080	+684	+5.1%
化成品	8,391	9,720	+1,328	+15.8%
マグネシウム	7,415	8,240	+824	+11.1%
セラミックス	976	1,480	+503	+51.6%
営業利益	2,078	2,200	+121	+5.9%
建材(※)	1,007	1,000	△7	△0.7%
化成品(※)	1,660	1,760	+99	+6.0%
経常利益	2,084	2,200	+115	+5.5%
(経常利益率)	(9.6%)	(9.2%)	—	—
当期(四半期)純利益	1,365	1,500	+134	+9.8%
減価償却費	1,079	1,340	+260	+24.2%
(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費)	3,157	3,540	+382	+12.1%

※ 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

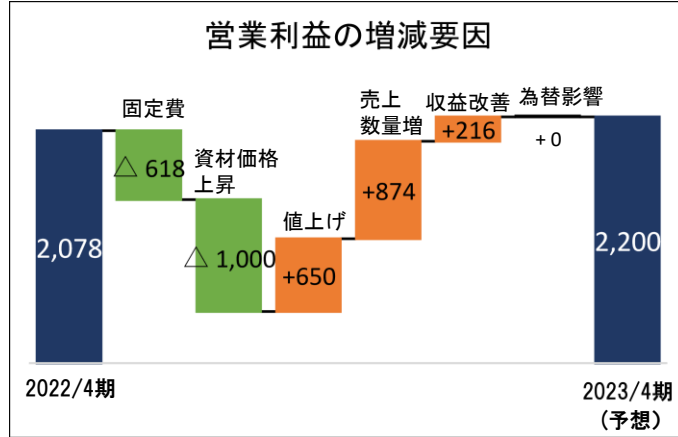
- ◇ 建材事業は、引き続き住宅用高級軒天ボードの伸びや高層ビル用の非住宅耐火パネルの好調により増収見込
- ◇ 化成品事業は、顆粒設備の本格稼働による酸化マグネシウム販売増により増収見込
- ◇ 損益面では、下期予想で更なる原材料費の上昇による影響を織り込んでいるが、一層の値上げ、収益改善等により増益予想

Ⅱ-2.2023年4月期 業績予想 (計画対比)

資材・原材料価格の上昇を値上げと収益改善により打ち返す

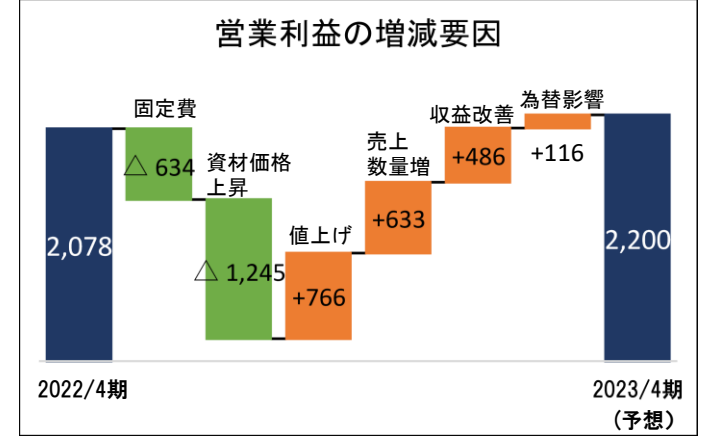
(当初計画) 2022/6/10

(単位:百万円)



(今回見込) ※

(単位:百万円)



※(今回見込)

	内容	2022/4期対比	当初計画比	
マイナス要因	・固定費増加	△ 6.3 億	△ 0.1 億	マイナス要因の拡大 △ 2.5 億
	・ <u>資材/原材料価格等の上昇</u>	△ 12.4 億	△ 2.4 億	
プラス要因 当社施策効果	・ <u>値上げ</u>	+ 7.6 億	+ 1.1 億	施策効果の拡大 + 1.4 億
	・売上数量増	+ 6.3 億	△ 2.4 億	
	・収益改善	+ 4.8 億	+ 2.7 億	
その他	・為替影響	+ 1.1 億	+ 1.1 億	
営業利益増減	2022/4期対比営業利益	※ + 1.2 億	± 0.0 億	当初計画から変更なし

※ (内訳) 化成品事業 +0.9億、建材事業 △0.0億、全社費用 +0.3億

Ⅱ-3.下期の取組み 化成品事業（実績対比）

① 化成品事業（マグネシウム・セラミックス）の取組み

■ 業績要因別見込（全社費用調整前）

	内容	2022/4期対比	
マイナス要因	・固定費増加 …… 償却費や人件費等の増加	△ 4.6億	影響小計 △ 11.4億
	・資材/原材料価格等の上昇 …… 原材料や燃料費・電力料の上昇	△ 6.8億	
プラス要因 当社施策効果	・値上げ …… 資材原材料価格の上昇分の転嫁	+ 5.0億	影響小計 + 9.9億
	・売上数量増 …… 海外のマグネシウムやセラミックス売上高の増加	+ 4.2億	
	・収益改善	+ 0.7億	
その他	・為替影響	+ 2.4億	
営業利益 増減	2022/4期対比営業利益	+ 0.9億	

■ 施策状況

- ・マグネシウム事業は、酸化マグネシウム顆粒設備が2022/4月より稼働開始し、新ライン品の顧客承認も完了
- ・セラミックス事業は、セラミックス新工場が2022/3月より稼働開始。
また、2022/9月に組織変更を実施し、営業体制を明確化。新規販路の拡大を図る

Ⅱ-4.下期の取組み 建材事業（実績対比）

② 建材事業の取組み

■ 業績要因別見込(全社費用調整前)

	内容	2022/4期対比	
マイナス要因	・固定費増加 …… 償却費や人件費等の増加	△ 2.0億	影響小計 △ 7.6億
	・資材/原材料価格等の上昇 …… 原材料や燃料費・電力料の上昇	△ 5.6億	
プラス要因 当社施策効果	・値上げ …… 資材原材料価格の上昇分の転嫁	+ 2.6億	影響小計 + 8.9億
	・売上数量増 …… 高級軒天ボードや耐火パネルを中心とした増収	+ 2.1億	
	・収益改善 …… 高付加価値品の拡販やコストダウンの実施	+ 4.1億	
その他	・為替影響	△ 1.3億	
営業利益 増減	2022/4期対比営業利益	△ 0.0億	

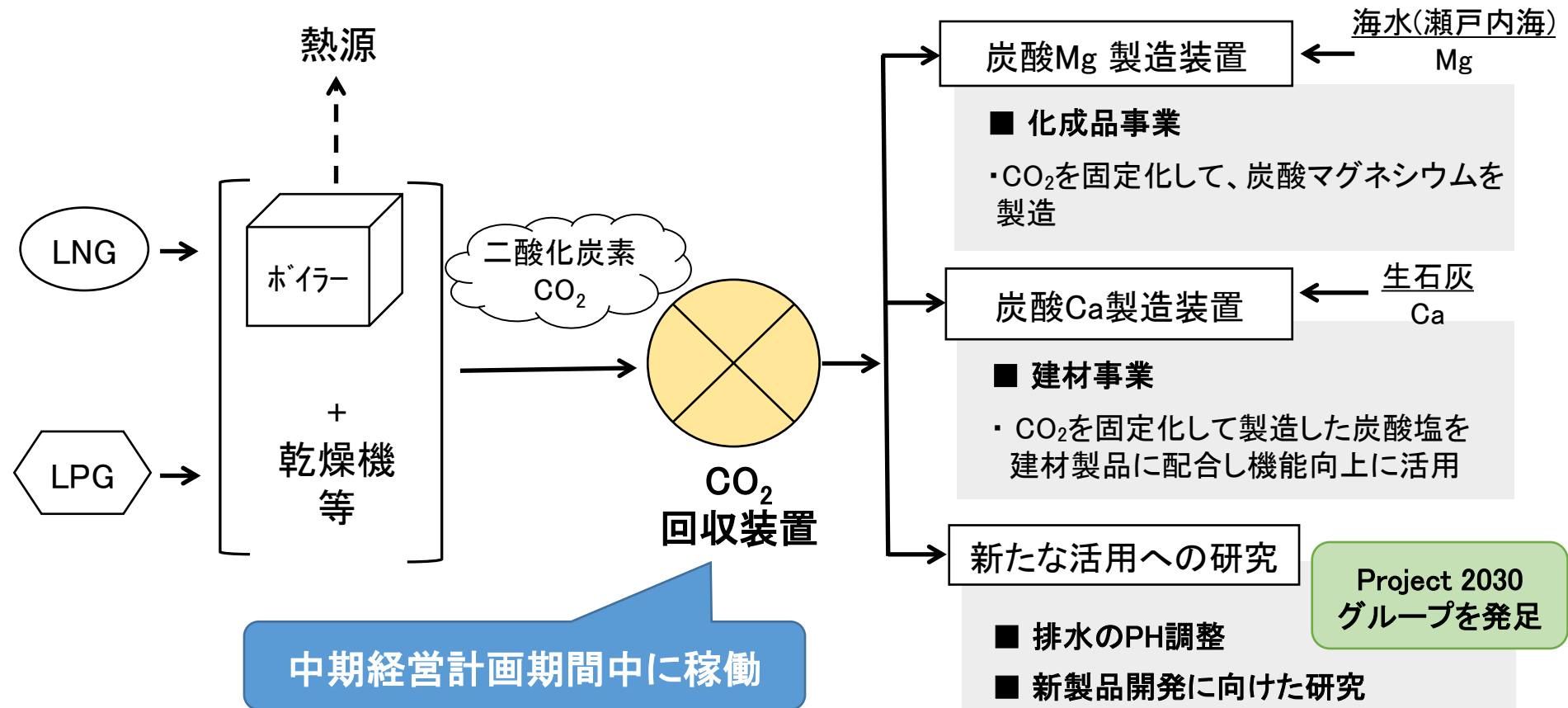
■ 施策状況

- ・ 建材事業の住宅分野は、引き続き高付加価値製品の高級軒天ボードを拡販
- ・ サイディング「アルテミュール」も高級軒天ボードと意匠統一化、高付加価値化を展開

Ⅱ-5.ユニークなビジネスモデルによる 炭素の固定化と資源循環型商品の提供

- 工場で使用しているLNGやLPG由来の二酸化炭素を回収し、製品への利用や新たな活用余地の研究などを進めていきます
- 新たにCCU推進部(Carbon Capture and Utilization)を新設

CO₂回収フロー図



Ⅲ 中期経営計画(ローリング)

—2023年4月期～2025年4月期



・ 2023年4月期～2025年4月期 の経営戦略

(1) 基本方針

- ・ 旺盛な需要に対応した設備投資の拡大と持続的成長モデルの構築
- ・ 技術志向を高めた「ハイエンド商品の追求」と「収益の極大化」

(2) 基本戦略

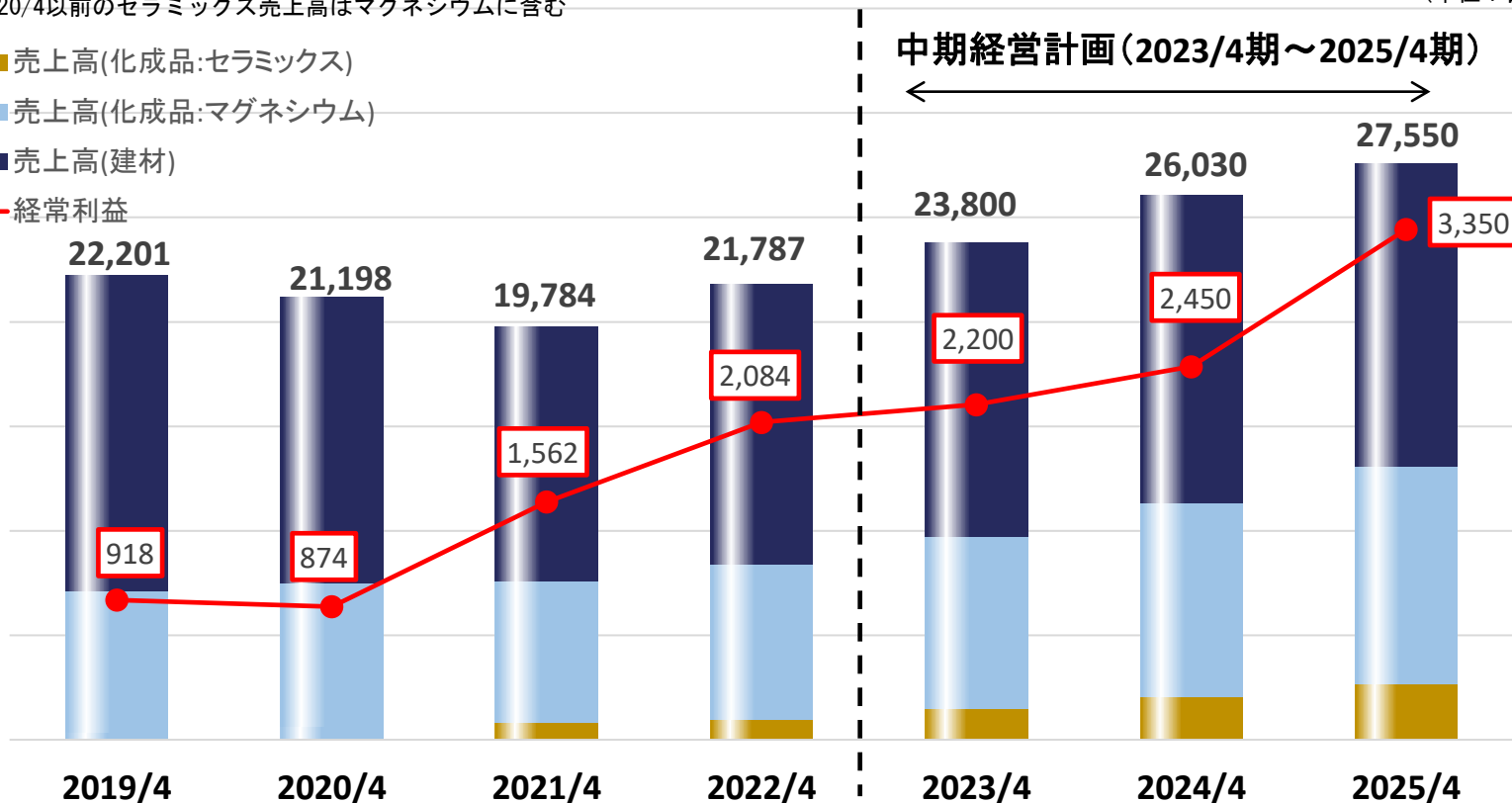
- ① 化成品事業の海外市場拡大と高付加価値化
- ② オンリーワン / セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 基材と塗装技術の強みを生かした、独自性のある建材商品の追求
- ④ ユニークなビジネスモデルによる炭素の固定化と資源循環型商品の提供

Ⅲ-2. 2023年4月期～2025年4月期 業績計画

※2020/4以前のセラミックス売上高はマグネシウムを含む

(単位：百万円)

- 売上高(化成品:セラミックス)
- 売上高(化成品:マグネシウム)
- 売上高(建材)
- 経常利益

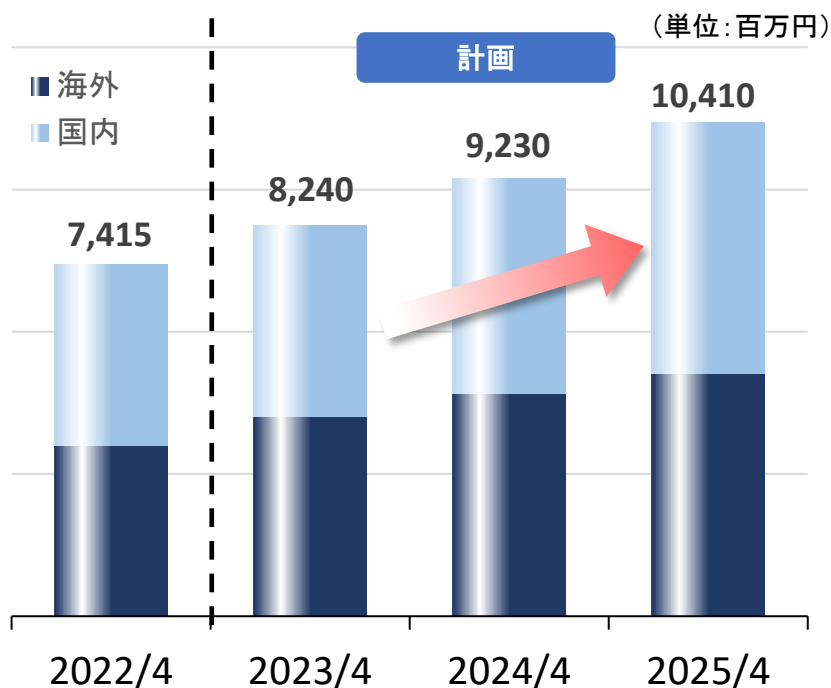


経常利益率	4.1%	4.1%	7.9%	9.6%	9.2%	9.4%	12.2%
自己資本比率	36.4%	39.4%	45.6%	37.7%	36.8%	40.4%	48.0%
総資産	19,611	19,082	18,602	24,697	28,700	29,500	28,800
純資産	7,159	7,552	8,540	9,365	10,607	11,970	13,874
設備投資額	1,254	933	1,685	4,522	6,360	1,800	480

Ⅲ-3.化成品事業：マグネシウム

①化成品事業(マグネシウム) 中期経営計画(2023/4期～2025/4期)

化成品事業(マグネシウム)売上高



中期経営計画(2023/4期～2025/4期) 重点項目

■ 大型設備投資による売上増

- ・2022/4 酸化マグネシウム顆粒設備 完成(13億円)
- ・2023/春以降 酸化マグネシウム、難燃水酸化マグネシウム増産設備 完成予定 (53億円)

(内訳 酸化マグネシウム 27億円
難燃水酸化マグネシウム26億円)

■ 高機能・高付加価値の新製品開発

- ・高機能粒子製品
- ・市場の環境対策(EVほか)に対応した製品開発

売上高全体に占めるマグネシウム売上高比率

2022/4 (実績)	2023/4 (計画)	2024/4 (計画)	2025/4 (計画)
34%	35%	35%	38%

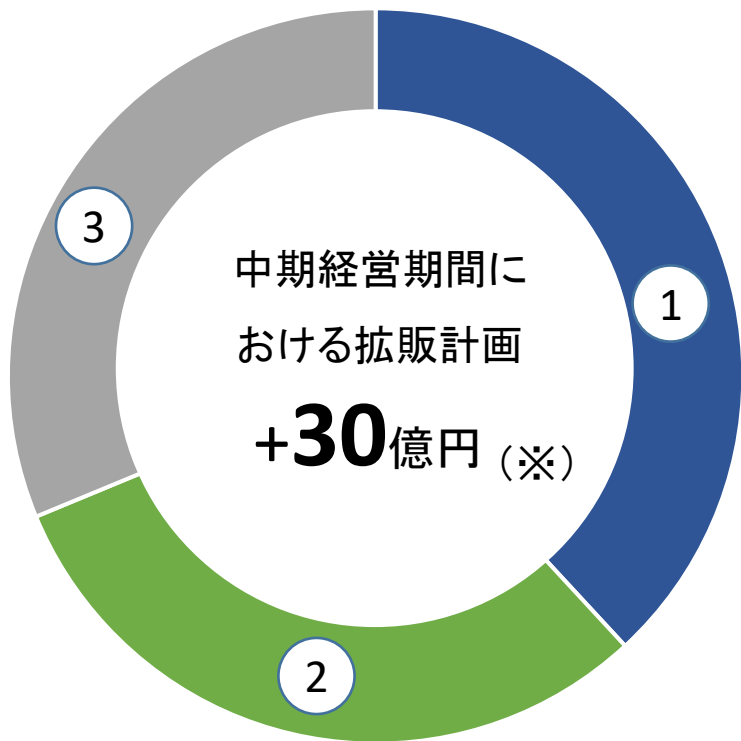


Ⅲ-3.化成品事業：マグネシウム

②化成品事業(マグネシウム) 中期経営計画(2023/4期～2025/4期)取組み

前期からの大型設備投資による拡販

製品別拡販計画



① 酸化マグネシウム 顆粒

- ・輸出向け顆粒(ミネラルサブリ用)
- ・医薬用顆粒(緩下剤用)

② 酸化マグネシウム 増設

- ・輸出向けパウダー(マルチサブリ用)
- ・医薬向けパウダー(緩下剤用)
- ・輸出工業用(プラスチック、合成ゴム等)

③ 難燃水酸化マグネシウム 増設

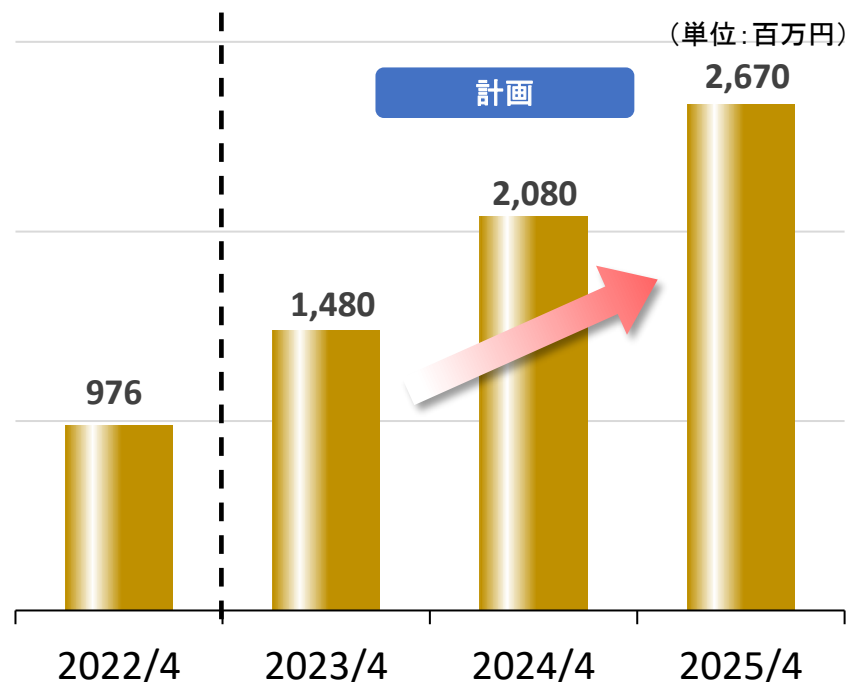
- ・工業用(自動車電線向け他)

(※)2022/4期実績比での2025/4期見込み

Ⅲ-4.化成品事業：セラミックス

①化成品事業（セラミックス） 中期経営計画（2023/4期～2025/4期）

化成品事業（セラミックス）売上高



売上高全体に占めるセラミックス売上高比率

2022/4 (実績)	2023/4 (計画)	2024/4 (計画)	2025/4 (計画)
4.5%	6.2%	8.0%	9.7%

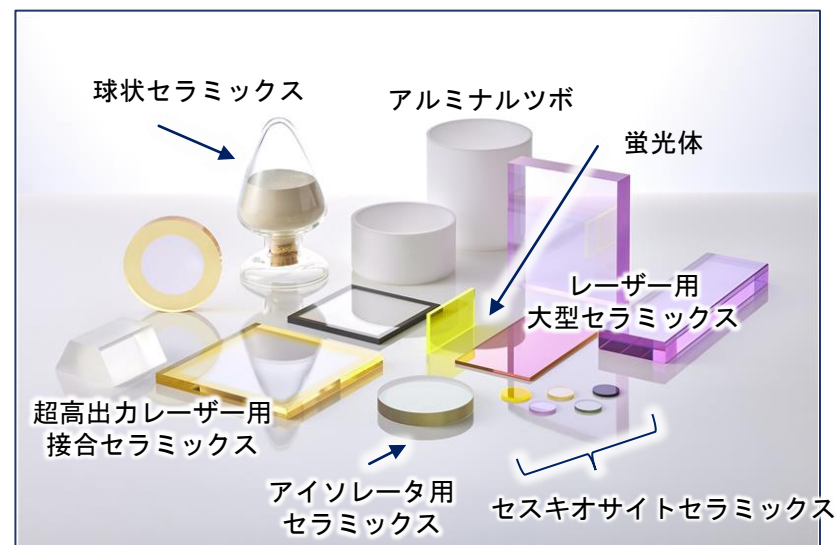
中期経営計画（2023/4期～2025/4期）重点項目

■ 23億円の設備投資

・新工場建屋完成により2022/3月より順次稼働開始

■ 大幅な需要拡大に対応した生産体制の構築

■ 研究開発を進めてきた「大型レーザー結晶」や「プロジェクター用蛍光体」の展開

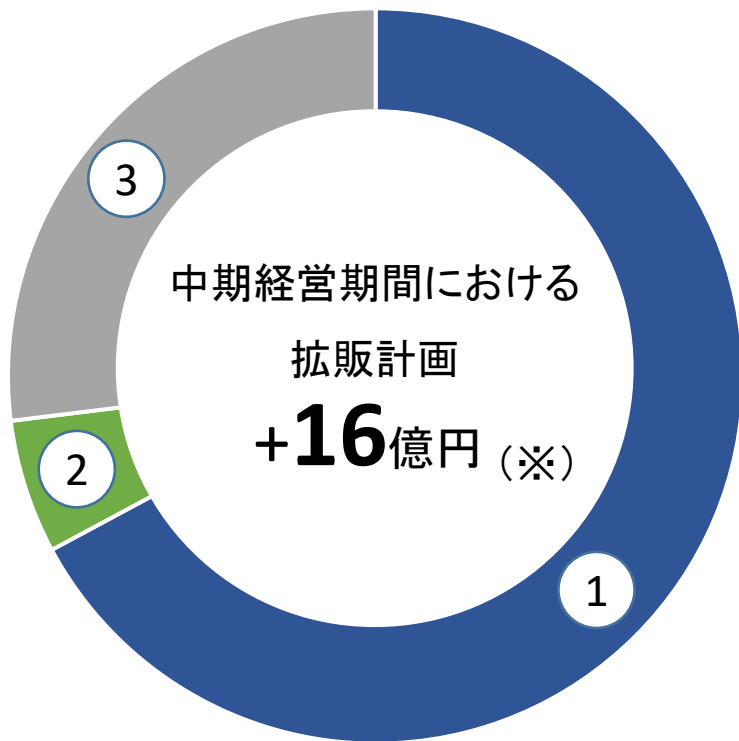


Ⅲ-4.化成品事業：セラミックス

②化成品事業（セラミックス） 中期経営計画（2023/4期～2025/4期）取組み

新工場の本格稼働による製品拡販

製品別拡販計画



① 蛍光体

- ・車載用途蛍光板増加
- ・プロジェクター用途「LED用蛍光体」販売開始

② 蓄冷材

- ・MRI用途向けに堅調に推移

③ レーザー 他

- ・「大出力レーザー」の本格展開

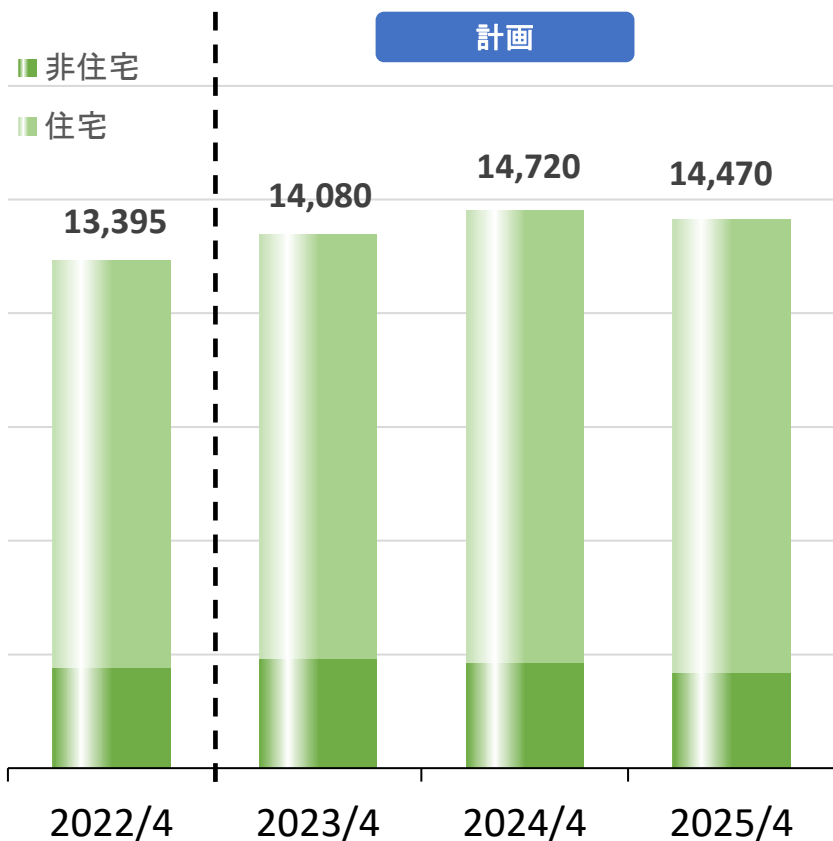
(※) 2022/4期実績比での2025/4期見込み

Ⅲ-5. 建材事業

① 建材事業 中期経営計画(2023/4期～2025/4期)

建材事業売上高

(単位:百万円)



中期経営計画(2023/4期～2025/4期) 重点項目

- 高付加価値商品の高級軒天ボードに注力
- サイディングも、高級軒天ボードと意匠統一化、高付加価値化
- 更なる製品バリエーションの拡充
(外部造作材の高級印刷品)



『アルテザート』(軒天井ボード)

DRESSE PREMIUM
〈ドレッセプレミアム〉

DRESSE CUSTOMIZE
〈ドレッセ カスタマイズ〉

『アルテミュール』(サイディング)

外壁材「アルテミュール」と軒天材「アルテザート」は外壁と軒天の意匠を統一出来る新世代の外装材

② 建材事業 中期経営計画(2023/4期～2025/4期) 取組み

当社の強み

基材の強み

- ・湿度や温度等による変形やゆがみが小さい
- ・最低限の補修部で施工ができ、高意匠品向き



強みを生かす戦略

「基材の強み」 × 「塗装技術」 = 高付加価値製品

- ・高級軒天ボード「アルテザート」
- ・サイディング「アルテミュール」(軒天ボードと同一意匠の仕上げ)



IV 株主還元



IV-1.株主還元

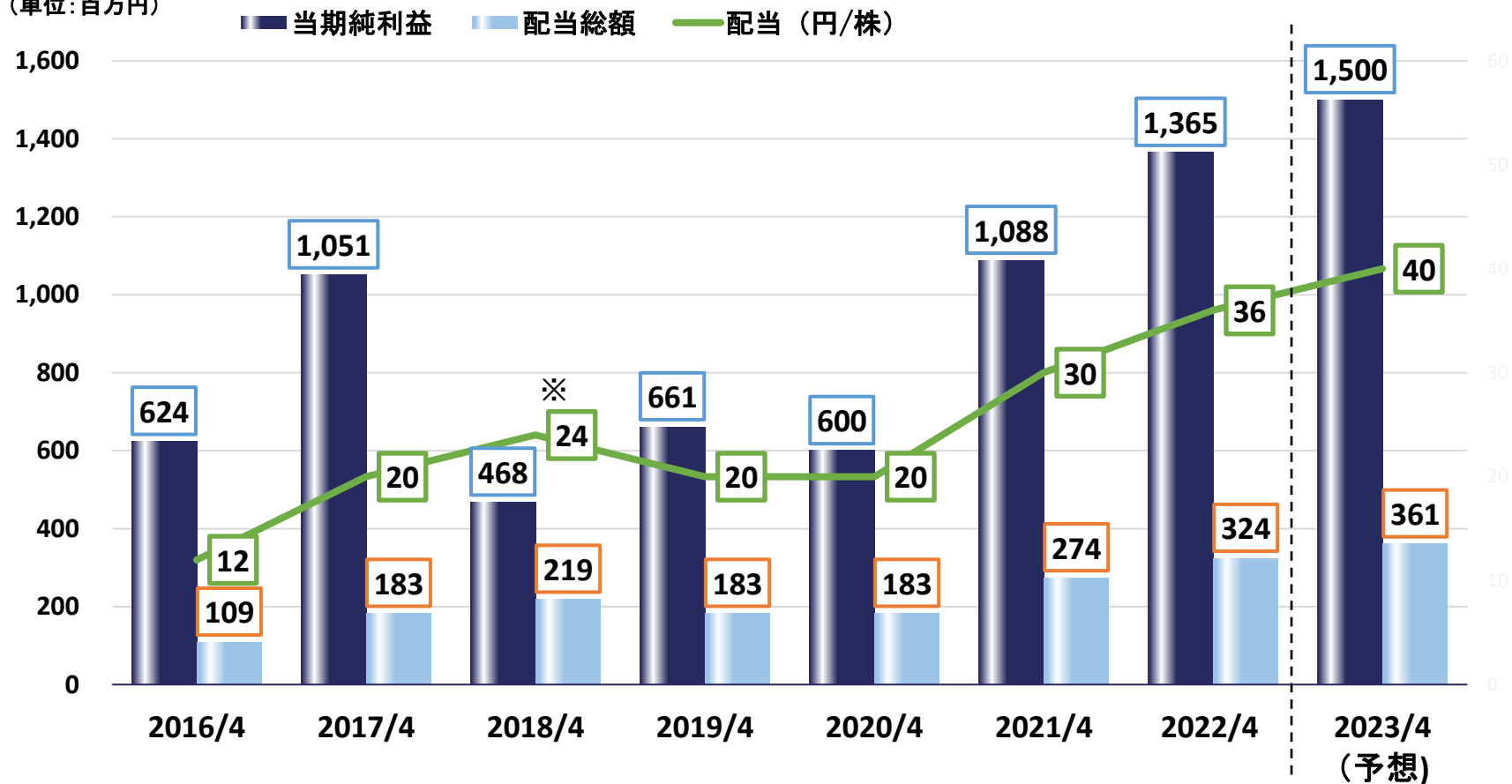
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保（設備投資資金）の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2023年4月期は、年間配当40円を予想

（単位：百万円）



配当性向	17.6%	17.4%	46.9%	27.7%	30.5%	25.2%	23.9%	24.1%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※内4円は、創業100周年記念配当

V 補足資料



経営の基本方針

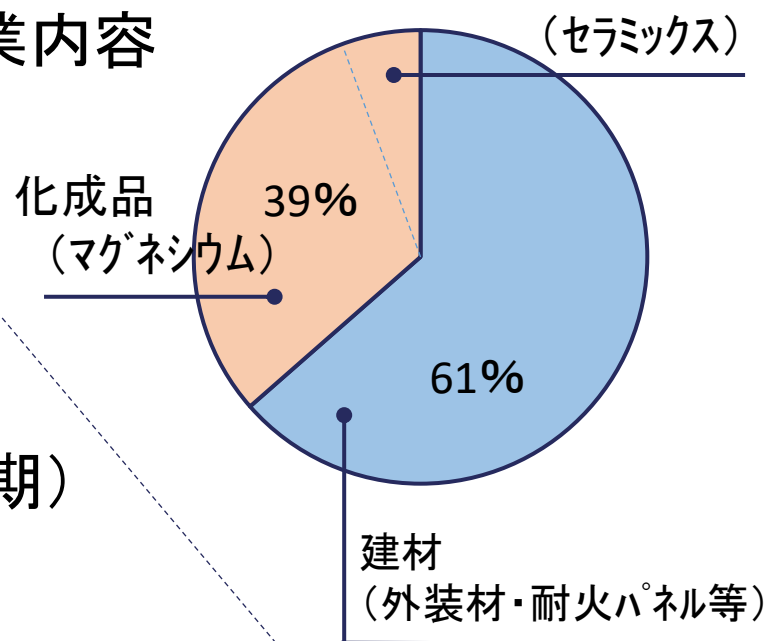
無機化学の可能性を追求し

**「顧客満足を第一に考え、
より広く深く社会に貢献していく」**

創業	1917年6月
設立	1946年3月
資本金	13億20百万円
従業員	620名
売上高	217億87百万円（2022年4月期）
代表者	代表取締役社長 池田和夫

事業内容

2022年4月期



V-1.当社について【沿革】

設立

1946年

1917年

創業 (株)神島硫酸製造所
(後の神島人造肥料(株))



1949年

炭酸マグネシウムの製造を開始

1957年

酸化マグネシウムの製造を開始

けい酸カルシウム板の製造を開始

1972年



押出法による
DRESSEの製造開始

1984年

1989年

科学技術庁無機材質研究所との共同研究で
YAGの合成に成功 製品化に着手



事業譲渡を受け、
ラムダ事業を開始

2015年

2006年

難燃水酸化マグネシウムの製造開始

2017年

創業 100周年



©2017 Kojima Chemical Co., Ltd.

テクニカルセンターの開設

2018年

2021年

セラミックス新工場完成



現在

V-1.当社について【拠点】



V-1.当社について【建材事業】

・住宅分野（外装）

DRESSE PREMIUM
〈ドレッセプレミアム〉

DRESSE
〈ドレッセ〉

不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩な
バリエーションの軒天ボード
GOOD DESIGN AWARD 2020 受賞



不燃外部造作材（破風板）

寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞

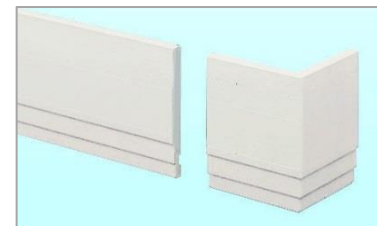


防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫りで本物志向の高級外壁材
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応



美しい木目柄を忠実に再現しました。
軒天井ボードとセットでご使用いただけます。



V-1.当社について【建材事業】

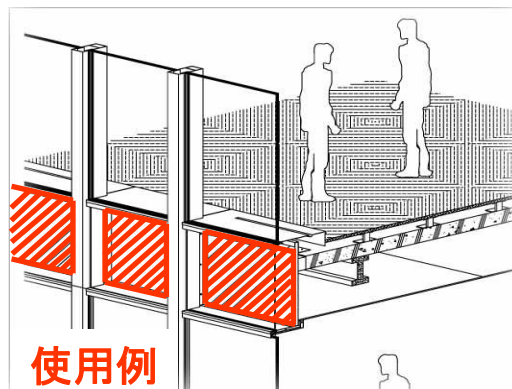
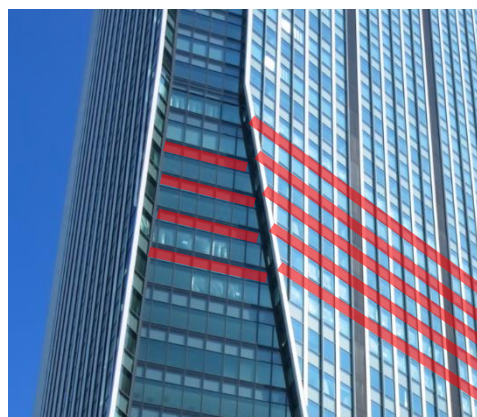
・非住宅分野(外装)

ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ



使用例

LAMBDA ラムダ

- ・高強度により、
最高31mの中高層の建物にも対応
- ・塗装によりメタリックやパールの光沢感、
コンクリートの風合



V-1.当社について【建材事業】

・非住宅分野(外装)



- ・あらゆる外観を美しく魅せ、リアルな質が評価され
様々な施設などでも活用されており、広がりを見せております



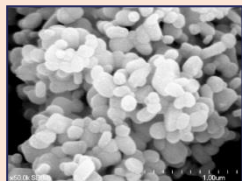
V-1.当社について【化成品事業-マグネシウム】

「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能



使用用途例

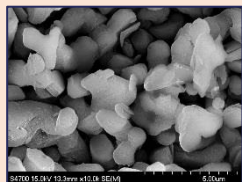
酸化マグネシウム (スターマグ)



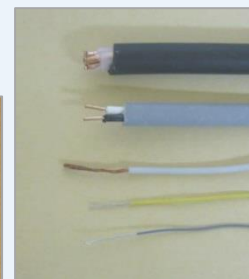
- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤等



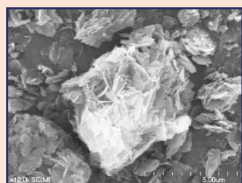
難燃水酸化マグネシウム (マグシーズ)



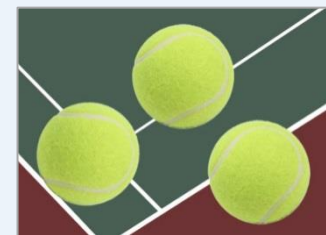
- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材等
- ・電子材料



炭酸マグネシウム

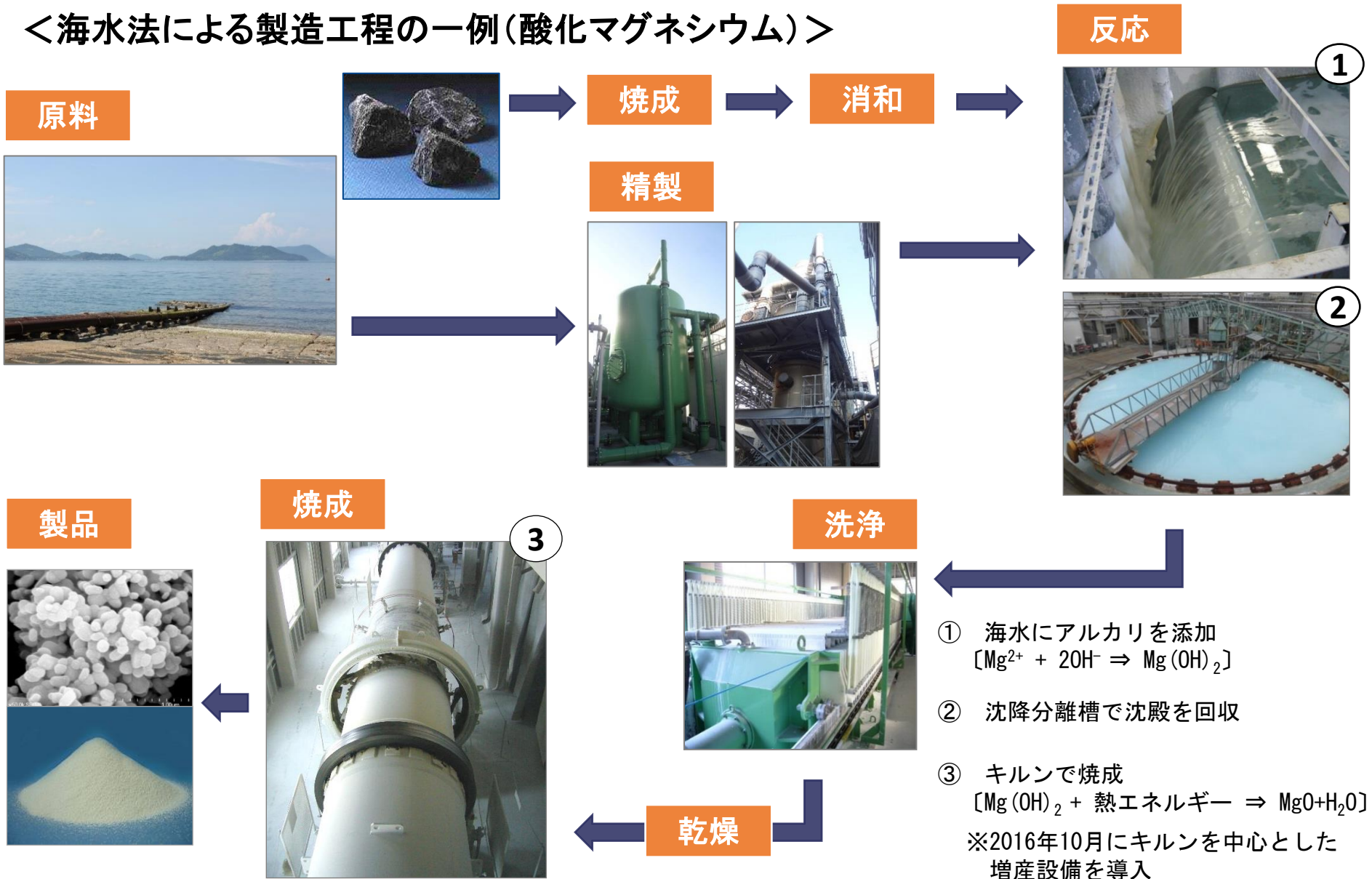


- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・インク、飼料等



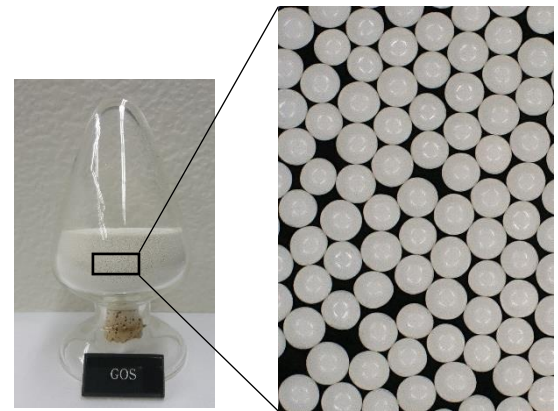
V-1.当社について【化成品事業-マグネシウム】

<海水法による製造工程の一例(酸化マグネシウム)>



V-1.当社について【化成品事業-セラミックス】

◆極低温冷凍機用



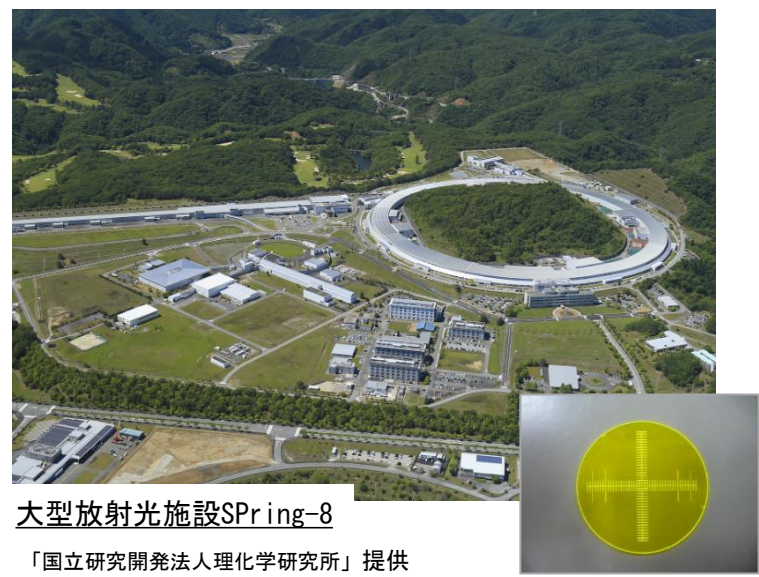
◆レーザー用



◆アイソレータ用

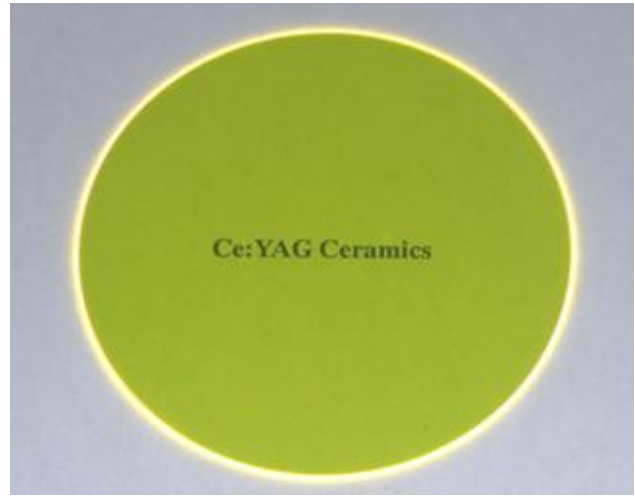


◆シンチレータ



大型放射光施設SPring-8
「国立研究開発法人理化学研究所」提供

◆蛍光体



V-1.当社について【化成品事業-セラミックス】

世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

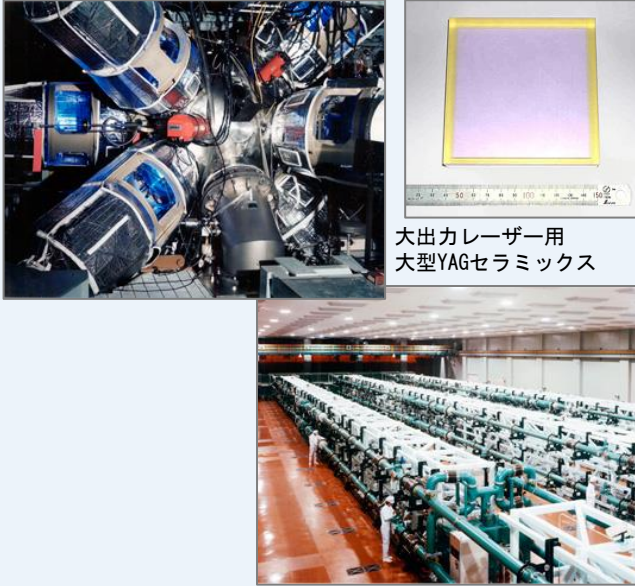
使用用途例

セラミックス

KONOSHIMA CHEMICAL CO. LTD.
 Nd:YAG ROD Nd:YAG SLAB Nd:YAG PLATE Nd:YAG DISK
 Yb:YAG ROD Yb:YAG SLAB Yb:YAG PLATE Yb:YAG DISK
 KONOSHIMA CHEMICAL CO. LTD.
 Nd:YAG ROD Nd:YAG SLAB Nd:YAG PLATE Nd:YAG DISK
 Yb:YAG ROD Yb:YAG SLAB Yb:YAG PLATE Yb:YAG DISK
 KONOSHIMA CHEMICAL CO. LTD.

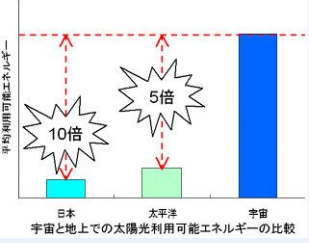
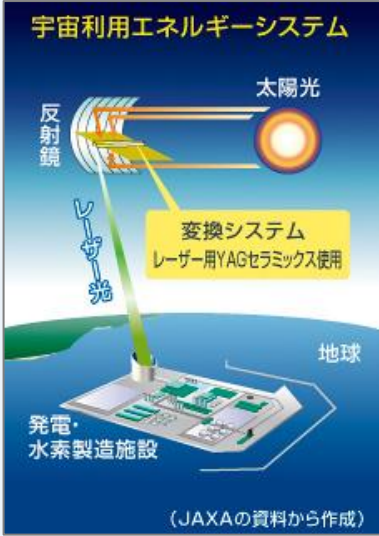
レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレータなど

レーザー核融合発電（慣性核融合発電）
 レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、
 エネルギーを取り出す発電システム
 この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用



大阪大学 レザ-科学研究所 右：ターゲットチャンパー 左：ビームライン

宇宙太陽光利用システム（SSPS）
 ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させて
 レーザー発振させる
 当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、
 世界で初めて成功させた（YAGセラミックス一部使用）



V-1.当社について【化成品事業-セラミックス】

レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(10Hz)へ
(セラミックスでしか到達できない領域へ)

世界の開発状況及び販売先

日本

大阪大学のレーザー科学研究所・東京大学のTACMIコンソーシアム・国内メーカー数社等が、国家プロジェクト（内閣府，NEDO，JST）で開発

アメリカ合衆国

Rochester大学やLawrence Livermore研究所で開発を進め、世界を牽引

EU（欧州連合）

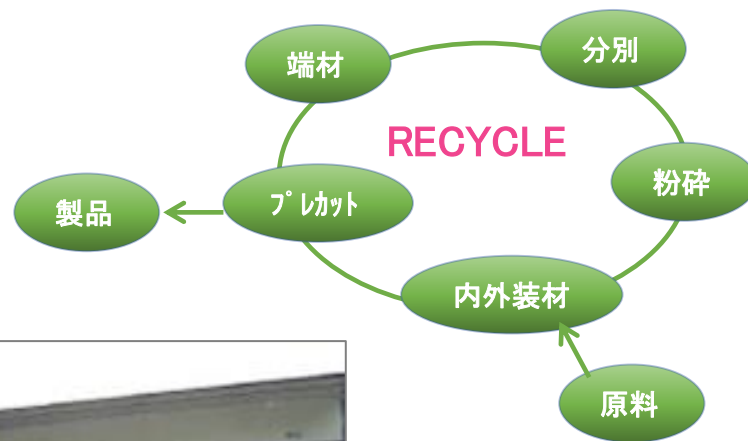
連合各国で資金を出し合い、HiLASEやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開
世界初の100J級セラミックレーザーを開発、大出力レーザー研究の牽引役となりつつある

研究内容

物理学・量子学（フォトン・プラズマ等）の解明、MRI、レーザー核融合発電等

地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています



建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています



リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、
その割合は50%にもなります

パレットのリサイクル使用

出荷したパレットは極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています



住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています

省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています





KONOSHIMA